

## 第5回 豊岡市障害者福祉計画策定・推進委員会

注) 議事録については、発言内容を一言一句正確に整理したものではありません。発言内容をもとに一部表現(文言)を変えて表記している箇所があります。

日 時 2021年1月12日(火) 13:30～15:20

会 場 豊岡健康福祉センター 3階 第2会議室

出席者 田垣委員、浜上委員、米田委員、中井委員、足立委員、國下委員、  
宮下委員、大垣委員、中奥委員、久木田委員、岡垣委員、大江委員、  
船谷委員、柳委員、松本委員(欠席:中川委員、小西委員)

### 1. 開会

### 2. あいさつ

委員長:

- 本日が計画策定に係る最終の委員会なので、ぜひご意見をいただきたい。

事務局:

- 事務局より、出欠確認

### 3. 協議事項

#### (1) 障害者福祉計画(案)について 資料1

- 第4回障害者福祉計画策定・推進委員会の意見に対する考え方について 資料2
- 事務局より、資料1、資料2に基づき説明。

事務局:

- 事務局より、H委員からの事前意見の紹介

H委員:

- 資料1 66ページ、成年後見制度の利用支援について。制度の利用に関する情報の提供に努めるとあるが、これでは取り組み姿勢としては弱いのではないかと。
- 76ページ、災害時・緊急時における情報提供について。社協が作成したバンダナについて活用方法の啓発を検討してほしい。

事務局:

- 成年後見制度の利用支援は、介護保険事業計画とも調整する。

M委員:

- 54ページ、「⑤障害者(児)虐待の防止」について、「保護者、養護者、施設従事者などの虐待」は「保護者、養護者、施設従事者などによる虐待」に修正していただきたい。

- 66 ページ、「障害者（児）虐待等の防止」の施策内容に、地域包括支援センターが記載されているが、これはもともと高齢者の機関であり、虐待について障害者からの相談も受けてもらえるのか。センターに了解していただいているのであればよいが、確認していただきたい。
- 71 ページ、「地域生活支援拠点等の整備」について、この機関が虐待の相談を受けるというのであれば、虐待の関係機関に含めていただければと思うので検討をお願いしたい。

**事務局：**

- 54 ページは修正する。
- 66 ページは、虐待には児童もあるが、高齢障害者もあり、高齢者や障害者のおられる家庭など様々であり、いろいろな機関が連携する必要があると考えている。地域包括支援センターを入れることは高年介護課に了解を得ている。
- 71 ページの地域生活支援拠点は、障害者の重度化、高齢化が進む中で、地域生活を見据えて、相談体制、緊急時受け入れ体制などをいろいろな機能を持たせて整備することとしている。虐待の相談についても包括的に含まれると思うが、障害者の生活を地域全体で支えて、機能の担い手となる関係機関へ働きかけたいと考えている。

**J 委員：**

- 66 ページ、「障害者（児）虐待等の防止」には、虐待防止センターも加えていただきたい。

**N 委員：**

- 8 ページ以降のグラフで「伸び率」となっているのは、基準年度を 100 としているので「指数」となると思う。検討をお願いしたい。

**事務局：**

- 検討する。

**C 委員：**

- 21 ページ、「②地域で生活するために必要な支援」で、いずれの障害も「経済的負担の軽減」「地域住民等の理解と見守り」とあるが「経済的負担」は地域に対するものか。

**事務局：**

- 「経済的負担」はアンケート調査でもこのままの設問項目となっている。
- 例えば、身体障害者については、地域で生活するための補装具の負担などと考えられ、地域（区費等）の問題ではないと思っている。

**委員長：**

- サービスについての経済的負担だと思う。また、グループインタビューでもそのような意見は出ていなかった。

**N 委員：**

- コロナ禍で、一般雇用では女性のパートタイマーの解雇などが起きている。障害者雇用では、それはないと思うが、with コロナと言われているので、今後について何か配慮した記述が必要かどうか検討をしてはどうか。この計画は長期計画なので反

映しないといけないことはないが、例えば、障害者雇用について実態を調査することなども考えられる。そのような実態がなければ、特に、記載は必要ないということかもしれないが提案させていただいた。

**委員長：**

- 私が知っている限りでは、コロナを理由に解雇はないと思うが、業種により、観光関係などは厳しい部分がある。一律には言えないと思うが、福祉課にそのような問合せは入っているのか。

**事務局：**

- 個別具体的なケースで、コロナの影響で就労先の経営が厳しくなってという相談はあったが、たくさんあるわけではない。
- 障害者に限らず、ひとり親家庭などでも、例えば城崎の旅館などで働いておられる場合、しわ寄せはきていると思っている。障害者やひとり親家庭などについて影響がないか常にアンテナを張って、対応が必要な場合には、すぐに対応できるようにしている。
- 現時点では計画に載せることを考えていないが、緊急事態宣言が出る状況もあるので、今後とも影響が出ていないか注視していきたいと思っている。

**委員長：**

- 就労A、Bについては、去年の春から夏ごろまで仕事がなくなったが、秋には戻ってきているようである。ただ、今後どうなるかわからないので懸念している。自立支援協議会の仕事部会で、委託作業をどうしていくなど検討を始めているが、今年のいつぐらいになったら元に戻るのか予測もつかない。障害者は非常に不安定の中で生活をされているので、サポートをしっかりしていきたいと考えている。感染の状況や噂を聞くと、施設としてもどうすればよいのか悩みは尽きない。仕事に限らず生活全般に影響があると考えないといけないと思っている。

**A 委員：**

- コロナ禍のことについて、計画に書くかどうかということであるが、どちらの方向も考えられる。
- 書くとすれば、最初の趣旨の箇所にいれてはどうか。1 ページに「兵庫県が新型コロナウイルス後の新しい生活様式を考慮した」とあるので、そうであれば、豊岡市ではどうかということを書く必要がある。また、コロナ禍によって仕事が減るなど具体的な話もあるが、人に接触することが良くないということと、一方では、外出して密な場所に行かなくてよいのでオンライン授業の方が良いということもある。障害のある人にとって生活のあり方を変えるものであるので、何も書かないというのはどうかと思う。ただ、書く場合は、基本計画か福祉計画のどちらに書くのか判断が難しい。
- 一方で、書くとした場合、文言についてかなり労力が必要なので、この時期では時間的に難しいのではないか。
- 昨年 10 月に地域福祉計画の会議で、コロナを考慮した計画にという意見もあり、そちらに記載があれば、障害計画の上位計画なので、この件についてはカバーされるのではないかとも思う。

**委員長：**

- with コロナについては、就労に限らず生活全般にわたることなので、入れてもよい

のではないかと思うが、検討していただきたい。

0 委員：

- 59 ページ、「児童・生徒間の交流拡大」について、兵庫県では、副次的な学籍の全面実施を目指して取り組みを進めており、それが実現すれば、障害児が地元の学校の行事にも参加しやすくなる。

4. 情報交換

5. その他

- (1) 今後のスケジュールについて 資料3

6. 閉会